

氏名	伊 藤 守
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2137号
学位授与の日付	平成13年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学（一）専攻 （学位規則第4条第1項該当）
学位論文題目	High Prevalence of TT Virus in Human Bile Juice Samples: Secretion Through Bile into Feces May be One of the Major Cause of the High Prevalence (人の胆汁中におけるTTVの検討：TTVは胆汁を介して糞便中へ排泄されており、TTVが広く蔓延している一つの主要な原因と考えられる)
論文審査委員	教授 山田 雅夫 教授 原田 実根 教授 小熊 恵二

#### 学位論文内容の要旨

TT ウイルス(TTV)は当初考えられていたよりも広く蔓延していることが明らかになってきた。PCR 法を用いた検査では、プライマーの設定によっては、一般健常人において90%以上の検出率が報告されている。この事実は、TTV が輸血により伝播するだけでなく、血液を介さずに感染する経路が重要な役割を果たしていることを反映しているものと考えられる。我々は、TTV が胆汁を介して糞便中へ排出され、糞口感染の原因となっているのではないかと考え、胆道ドレナージを施行された26症例の胆汁、血清及び糞便中のTTV-DNAについて検討した。TTV-DNAは血清中で26人中22人(84.6%)から検出され、そのすべての症例で胆汁中においても同様にTTV-DNA陽性であった。糞便中においても高率にTTV-DNAは認められ、胆汁中、糞便中いずれにおいても、ほぼ完全なウイルス粒子として存在していることがわかった。TTVは胆汁を介して糞便中に排出されており、このことがTTVが広く蔓延している原因の1つと考えられる。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、TTVが胆汁を介して糞便中へ排泄されることを直接証明することを目的とした研究である。胆道ドレナージを施行した26症例の胆汁、血清、および糞便中のTTV-DNAについて検討している。TTV-DNAは血清中で26人中22人から検出され、その陽性のすべての症例で、胆汁中においてもTTV-DNAが検出され、さらに糞便中からも高率にTTVが検出された。またこれら検体中では、ウイルス粒子として存在することが示唆された。これらの知見は、TTVの伝播様式を考える上で重要な知見を得たものとして価値ある業績である。

よって、本研究は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。